

た。セレナが落ち着くと、二人は海<sup>うみ</sup>辺<sup>べ</sup>の石<sup>い</sup>段<sup>だん</sup>まで歩き、肩を並べて座った。

「びしょ濡れたね。大丈夫？体調はどう？着替える？」

ミスエンジェルが心配そうに尋ねた。

「大丈夫、元気よ。泳げないのを忘れていた」  
セレナは答えた。

「エリカ達って本当に嫌だなー」

愛想が尽きたように言ったミスエンジェルは、深呼吸して続きを言った。

「昼食の時、少し言い過ぎた。ごめんね。セレナは、本当に私が誰かを知りたいの？」

「うん。でも教えてくれないでしょ」

